

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870301264		
法人名	有限会社 久保田電気		
事業所名	グループホーム 土浦マロン館	ユニット名	東館
所在地	〒300-0021 茨城県土浦市菅谷町1358-1		
自己評価作成日	平成24年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成24年8月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870301264&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年3月22日	評価確定日	平成24年8月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者一人一人が自分のペースで生活しているとともに、利用者どうしのつながりも大切にしております。 また、事業所は利用者のご家族との信頼関係を築いています。 建物は廊下やリビングなどを広く取っており、ゆったりと過ごせるようになっております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は梨畑や杉林に囲まれ、梨畑を挟んで住宅地が広がる閑静な環境に位置している。 利用者は恵まれた自然環境の中で毎日の散歩を楽しみ、職員を心から信頼して心穏やかに過ごしている。 職員は勤務年数が長く、向上心をもって仲良く協力し合い、利用者一人ひとりを理解し暖かい介護にあたっている。 管理者は職員が安心して出産や育児ができるよう産休制度を導入して勤務条件を変えたり、職員の子どもが急な病気の場合は代替りの職員が勤務を引き継ぐなど、安心して子育てができる体制を整えている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「愛、自由、楽しく」を理念として取り組んでいます。	「愛・自由・楽しく」との理念のほかに、「助け合って安心して暮らせる家を目指し、地域や家族と通じ合える心を大切にします」とのスローガンを掲げ、管理者や全職員で共有して日々実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りに参加したり、地元のボランティアの方が来てカラオケをしてくれるなど交流をもっています。	事業所は地域にある神社の神輿の立ち寄り場所になっており、納涼祭には神輿が立ち寄り利用者を楽しませてくれている。 ボランティアが来訪して踊りや手品、尺八演奏などを披露しているほか、事業所のバーベキューに地域の人々を招待して交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員の方や地区の区長さん、近所の方々を通して理解いただいています。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1回開催しています。市職員、民生委員、社会福祉協議会、家族代表の方などにご協力いただいています。	運営推進会議は家族等や市職員、市社会福祉協議会職員、町内会長、民生委員で2ヶ月に1回開催し、外部評価の結果や運営状況を報告しているほか、委員から地域の情報を得たり時の話題を話し合い、出た意見等を全職員で検討して運営に反映させている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市職員の方、相談員の方を通して取り組んでいます。	管理者は必要に応じて市担当者を訪問し、運営上の報告や相談をするなどで連携している。 生活保護受給者が入居を希望した場合、管理者は市担当窓口を訪問し入居に向けた相談をしている。 市職員は生活保護受給利用者の生活状況を見たり話を聴くため月1回来訪している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ポスター等を掲示し、全ての職員が理解するようにしています。	身体拘束排除マニュアルを作成するとともに毎月職員会議の後に研修を実施し、全職員で禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を正しく理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加するとともに、虐待防止に関するマニュアルを掲示し、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	制度の理解はしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行い、納得していただいたうえで署名、捺印していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに、意見、要望を聞くように心掛けています。	職員は日常的に利用者に話しかけて意見や要望を聴いている。 管理者や職員は家族等の面会時に意見や要望を聴き、出た意見等を管理者や職員で話し合い運営に反映させているが、全ての家族等から意見等を汲みあげるまでには至っていない。	意見を言い出し難い家族等に配慮し無記名のアンケートを実施するとともに、出た意見等を運営に反映し、結果を家族等に報告することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ミーティングを実施し、話し合っています。ミーティング時以外にも必要に応じて直接話して意見交換しています。	月1回実施するミーティングで代表者や管理者、職員で意見交換をしている。 管理者はミーティングの後に全職員で職員会議を開催し、意見や提案等を聴く機会を設けるとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得をすすめ個々が向上心を持って働けるようにしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に見合った研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2カ月に1回開催される市内のグループホーム連絡会に参加し、意見交換などを行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	聴く努力をし、不安をなくすようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等からの相談には耳を傾けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必ずしも入所ではなく、アドバイス出来ることはしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の方がゆっくり歩く方に合わせて散歩するのを見て、あらためてやさしさや思いやりを感じています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方々には、相談しながら一緒に利用者を支えていくように心掛けています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の家族がいつでも宿泊できるようにしています。	利用者が以前住んでいた家の近隣住民が面会に来訪しているほか、利用者は孫の卒業式の祝いに出席したり、盆や墓参り、正月などに一時帰宅している。 職員は利用者が以前住んでいた家の近くを利用者と一緒にドライブをするなど、これまでの馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ソファーを置いたり、食事の席をかえさせていただいて関わるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も家族の方がたまに寄ってくださることがあり、その際、支援できることはするように心掛けています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望に沿うように心掛けています。	職員は日常的に利用者に話しかけて意見や要望を聴いている。 意向の把握が困難な利用者の場合は職員で話し合うほか、家族等に電話で相談したり利用者の表情などから思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族等から話を聴き、把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のなかで声かけ、見守りを欠かさず現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス時に話し合い、介護計画を立案し、その結果についても話し合うようにしています。	利用者や家族等のほか協力医療機関の医師から提案などを聴き、利用者本位の生活が継続できるよう計画作成担当者が中心となり全職員で現状に即した介護計画を作成している。 短期計画は3ヶ月毎、長期計画は6ヶ月毎に見直すとともに、モニタリングを毎月実施している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子を時間ともに記録しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できる限りの支援をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	多方面の方々のボランティアを受け入れています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回、近医の医師が往診してくれています。受診ノートを作成し、状況把握に努めています。	かかりつけ医への受診は職員が付き添い、受診結果は薬の情報とともに家族等に報告している。 2週間に1回協力医療機関の医師や協力歯科医が訪問診療に訪れるほか、1週間に1回訪問看護師が訪れている。 異常等があった場合は電話で家族等に報告し、今後の方針を相談している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回、看護師に来館していただき、アドバイスをいただいています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	洗濯物等を取りに行ったときなどに情報を聴くようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と相談し、終末期の方針を決め、署名、捺印をいただいています。	事業所は過去に看取りを経験している。現在ターミナルケアの利用者はいないが、いつでも対応ができるように体制を整えている。 家族等に事業所でできることとできないことを説明し、重度化した場合は家族等や主治医、訪問看護師、職員で看取りに向けた対応方針を話し合い、家族等の同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修に参加したりして身に付けるよう努力しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者を含めた消防訓練を行っています。	避難訓練を年2回実施し、内1回は夜間を想定した避難訓練を行うとともに実施記録を作成しているが、訓練で明らかになった反省点や課題を話し合うまでには至っていない。 避難訓練を実施するにあたり、職員の役割分担を決めたり地域の人々の参加を得るまでには至っていない。 米や缶詰、カップ麺、飲料水、毛布などを備蓄しているが、一覧表を作成して管理するまでには至っていない。	避難訓練の課題を明確にし、次回の訓練に活かせるよう話し合うことを期待する。 運営推進会議で話し合い、委員を通して避難訓練に地域の人々の参加が得られるよう働きかけてもらうことを期待する。 災害時の職員の役割分担を決めることを期待する。 備蓄品の一覧表を作成し在庫や賞味期限を管理することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者への言葉かけには配慮しています。個人情報の使用については同意書を作成し、署名、捺印していただいています。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重して穏やかに言葉をかけており、トイレ誘導時も周囲の人にわからないようさり気なく声をかけている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかるロッカーに保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	わかるように話し、理解していただき、自分でどうするかを決めていただいています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や入浴等は本人の希望にそって支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えるときなどは本人の希望を確認しています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる範囲で、テーブル拭き等を行っていただいています。	1週間毎の献立表を作成し、利用者の咀嚼状態に合わせてお粥や刻み食、ペースト食を提供している。 誕生日や行事に合わせていなり寿司や餅などを提供しているほか、ドライブで外出の際は利用者が寿司や蕎麦など食べたいものを自由に選んで外食を楽しんでいる。 利用者は職員と一緒に食前食後のテーブル拭きや下膳などを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食・副食量はその方に応じた盛り方にするよう工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前に口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の状況に応じて排泄介助を行っています。排泄チェックも記録に残しています。	職員は排泄チェック表に基づき利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、さりげない声かけでトイレ誘導し、トイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動をすすめたり、下剤を処方していただいたりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一日おきに入浴できるように支援しています。	入浴は2日に1回利用者が希望する時間帯に支援している。 風呂は一人ずつ入浴ができるよう配慮している。 車いすの利用者は職員が二人で対応して安全に入浴ができるよう支援している。 柚子湯や菖蒲湯を取り入れて、季節に応じた入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人で動けない方は様子をみて体位交換等行うようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を利用者ごとにファイルし、職員全員が確認できるようにしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気の良い日は散歩に行くなどして気分転換を支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望にそえない場合は、家族と話し合っって対応するようにしています。	職員は利用者と一緒に日常的に買い物に出かけているほか、天気の良い日は事業所周辺の散歩を支援している。 職員は車いす使用の利用者も利用者の助けを借りて外気浴が楽しめるよう支援をしている。 職員は利用者が筑波山や茨城空港、牛久大仏、水郷公園などに出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出する際に自分のお金で好きな物を買ってもらうこともあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて家族に電話をかけています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花をいけたり、季節に合わせた飾りつけをしています。	事業所内の温度や湿度を調整して利用者が居心地よく過ごせるよう配慮をしている。 居間に利用者のカラオケでのスナップ写真や季節の花を飾り、和やかな雰囲気づくりをしている。 トイレは車いすに対応できる広さがあり、手すりを設けているほか、センサーライトを設置してスイッチの煩わしさを無くしている。 風呂は一人ずつ入浴ができるよう配慮している。 車いすの利用者には職員が二人で対応し、安全に入浴ができるよう支援している。 足元照明等は夜間の安全な歩行に役立っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや椅子を置いてあります。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所の際にこれまで使用していたものを持参していただいています。	居室にはエアコンや整理箆筒、換気扇、照明器具、インターホン、カーテンが備え付けられている。 利用者は居室に以前の住まいで使用していたテレビや鏡台、ぬいぐるみ、写真など思い思いの物品を自由に持ち込み、安心して暮らせるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置しています。			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム土浦マロン館

作成日 平成24年8月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	全ての家族等から意見等を汲みあげるまでには至っていない。	全ての家族等から意見等を汲みあげ、運営に反映させていく。	家族等に配慮し、無記名アンケートなどを行い、出た意見を運営に反映させていきたい。	6ヶ月
2	35	避難訓練で明らかになった反省点や課題を話し合ったり、備蓄品の一覧表を作成し、管理するまでには至っていない。	避難訓練の後、課題を明確にしたり、備蓄品の管理を徹底することによって災害に備える。	避難訓練の課題を明確にし、次回の訓練に活かせるように話し合いを行うとともに、備蓄品の一覧表などを作成し、管理していきたい。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。